

キャラクター名
春風 小唄

プレイヤー名

シンドローム	ハヌマーン		ワークス	UGN支部長C	カヴァー	高校生であり音楽家
	ソラリス					
オプション			年齢	17	性別	女性
覚醒	忘却	衝動	自傷	初期侵食率	33	%
出自	双子	経験	平凡への憧れ	邂逅	秘密	

	基本値	ワークス	ボーナス	成長	他修正	能力値	HP	25
肉体	1	0	0			1	行動値	5
感覚	1	0	0			1	(非装備時)	5
精神	2	1	0			3	戦闘移動	10
社会	4	0	0			4	全力移動	20

肉体			感覚			精神			社会		
技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正	技能	SL	修正
白兵			射撃			RC	1		交渉		
回避			知覚			意志	1		調達	1	
運転:			芸術: 音楽	5		知識: レネゲイド	2		情報: UGN	1	
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		
運転:			芸術:			知識:			情報:		

武器・コンボ	能力	命中値	G値	攻撃力	射程	メモ
		0				

防具	価格	装甲	回避	行動	メモ

所持品	
思い出の品	
コネ:UGN幹部	
コネ嗜好きの友人	
情報収集チーム	
専門家	
リーダーズマーク	

合計装甲: 0 合計回避: 0

ロイス				
対象	感情(pos)	感情(neg)	タイム	消費
優しい奇跡	P	N		
面影島の秘密を守る者	P 執着	N 憐憫		
ナツミ?	P 庇護	N 恐怖		
面影小春	P 有為	N 敵愾心		
	P	N		
	P	N		
	P	N		

最大財産P: 10 残り財産P: 5

スキル名	SL	コスト	タイミング	射程	対象	判定	制限	メモ
ワーディング	★	-	オート	視界	シーン	自動	-	
効果:	非オーヴァードのエキストラ化							
リザレクト	0	1d10	気絶時	-	自身	自動	↓100	
効果:	コスト分のHPで復活							
癒しの歌	5	2	メジャー					
効果:	HPをLvD+精神回復。							
救済の調べ	1	5	オート					
効果:	戦闘不能を回復。HP1で復活。1シナリオ1回まで。							
波紋の方陣	6	5	オート				80	
効果:	ダメージを [lv+1] D点軽減する。1ラウンド1回まで。							
限界突破	2	3	セットアップ				80	
効果:	1ラウンドに1回まで、使用可能エフェクトを2回までにする。1シナリオlv回まで。							
奇跡の雫	1	6	オート				100	
効果:	戦闘不能から復活。HPを [lv×5] まで回復。							
アクアウィターエ	1	10	オート				120	
効果:	戦闘不能から復活。HPを [lv×10] まで回復。							
ディヴィジョン	3	1d10	オート					
効果:	対象のHPダメージを半分(切り捨て)にする。その後、軽減ダメージを受ける。							
援護の風	5	2	オート					
効果:	判定時にダイス+lv個する。							
ウインドブレス	3	2	オート					
効果:	援護の風前に宣言。達成値+lv×3							
タブレット	3	3	オート					
効果:	ソラリスのエフェクトを「射程:視界」に変更する。							
多重生成	3	3	オート					
効果:	エフェクトの対象を[Lv+1]体にする。							
メモリー:春旅小唄	1							
効果:								
ゴッドウィンド	1	120	オート				10	
効果:	自動成功のエフェクトを打ち消す。							

春旅小唄(はるたび こうた)には、春旅花奏(はるたび かなで)という双子の妹がいた。決して貧しくはないが、遊んで暮らせるほど裕福でもない、平凡な一般家庭で、両親と小唄、花奏は健やかに育っていた。二人は大好きな音楽で毎日のように遊び、誕生日には「ハッピーバースデイトゥーユー」を小唄が元気に歌い、花奏が拙い演奏を奏でる。小唄と花奏には特殊なつながりがあった。片方が怪我をすると、もう片方の同じ箇所も痛むのだ。外傷は無いが、その苦痛は本物で、一人が怪我をすれば、二人とも泣き出すので、両親はやれやれと二人をあやす。

そんな日常は、ジャームの暴走とUGNの戦いによって終わりを告げる。春旅一家は、その暴力の嵐に巻き込まれ、両親は塵も残らず、そして春旅小唄は全身に重度の火傷を負った。

生き残った花奏は、死んだ小唄の痛みに涙を流す。皮膚がひりつき、ケロイドと化した箇所を削ぎ落としたいほどの感覚に歯を食いしばる。小唄が呼吸をする度に肺と心臓が悲鳴を上げる。でも弱音は吐かなかつた。自分がいなければ、自分が小唄の痛みを半分背負わなければ、きっと小唄はすぐに死んでしまう。その思いと、一人になりたく無いという思いが、花奏を奮い立たせた。

しかし、それを許さなかったのは小唄だった。微かな意思を小唄はUGNに伝える。小唄の意思を感じ取ったUGNのエージェントと医師は、苦渋の決断として小唄の生命維持を終了し、そのまま彼女は帰らぬ人となった。痛みが消え去った花奏は、小唄が逝ってしまったことを本能的に感じ取る。そして、その喪失は、彼女の自我と記憶、そしてオーヴァードとして覚醒させるのに十分だった。

花奏が目覚めたとき、彼女は自分の家族のことを全て忘れていた。そして、自分のことを「春旅小唄」と名乗ったのだ。医師の見解では、喪ったものを否定するべく、自分を否定して、喪った小唄を自我として再構築したのでは無いかとのこと。UGNは、彼女が亡くなった姉妹のこ

